



# SDGs達成に向けた宣言書



当社は、SDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

## SDGs達成に向けた経営方針等

私たちの使命は、商品を通してお客様に感動をお届けすることです。そして、それと同時に従業員やその家族、取引先など関わる全ての人たちの幸せを目指しています。その繋がりや輪をさらに大きく捉え、私たちの商品開発や生産活動、原材料調達において持続可能な社会づくりに寄与する取り組みを行うことで、SDGs達成に貢献していきます。

3側面 (主な分野 を囲む)	SDGs達成に向けた 重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組
環境 社会 経済	二酸化炭素排出量の削減	CO2排出量 46%削減 (2013年度比)	・ 太陽光発電による自家消費 ・ 再生可能エネルギーの利用 ・ ポイラーの燃料転換
環境 社会 経済	製造ロス、食品ロスの削減	動植物性残渣 廃プラスチック 24%削減 (2021年度比)	・ 工場内での製造ロス削減 ・ ロングライフ商品の開発 ・ 子ども食堂への寄贈
環境 社会 経済	社会課題解決商品の開発、販売	社会課題解決商品 5品開発	・ キャベツの非可食部活用プロジェクトの推進 ・ 高齢化社会に適用した商品の開発

2022年11月25日

住 所： 群馬県前橋市上大島町2-1  
企業名： 株式会社みまつ食品  
代表者： 代表取締役社長

神山 光永

# 私たち「株式会社みまつ食品」が目指すべきこと

## 『環境負荷の小さい工場』

私たちが使用する原材料の多くが、地球の恩恵を受けたものです。その原材料は昨今の異常気象や天候不順などによって少なからず影響を受けています。

私たちの生産活動において温室効果ガスの排出抑制や水の使用量を低減し、環境負荷を小さくすることは将来的な気候変動の抑制に寄与するとともに、私たちの事業継続にも直結すると認識しています。そのため、全従業員で環境負荷低減に取り組んでいきます。



## 『生産者の思いを余すことなく商品にする社風』

私たちの使用する原材料は全て前工程があり、特に生産者はそれを丹精込めて作ります。その思いをしっかりと製品に変えていきたいと私たちは考えています。工場内での製造ロスはまさに課題であり、その一つひとつを見極めることで持続可能な取り組みに繋げていきます。また、せっかく作った商品も流通段階で売れ残りとして廃棄されてしまわないよう、商品のロングライフ化の研究開発も進めてまいります。

食品ロスの放置は、環境悪化や食料危機に対する大きな脅威になるため、私たちは積極的に食品ロスの低減に取り組んでいきます。



## 『食ですべての人を幸せに包み込む企業』

私たちは商品を通してお客様に「感動」をお届けすることが何よりの喜びです。そして、「食」を通じて支え合えるパートナーでありたいと考えており、これからも様々な形で関わり合っていきます。

- ・ 出荷調整で出てしまった販売はできないが品質に問題がない商品の寄贈を通して、食のセーフティーネットに貢献します。
- ・ 地域の小学生の社会科見学、高校生や大学生のインターンシップの受け入れにより、リアルな体験を通じた食育活動と「食」への理解を深めるお手伝いをします。
- ・ 女性の雇用充実、育児休暇取得の推進や産後の職場復帰がしやすい環境整備を行います。また、多様な人材が働きがいを持って活躍できる環境づくりも推進します。
- ・ ペットボトルキャップを回収し、医療支援や障がい者支援、子供達への環境教育などの社会貢献活動に協力していきます。
- ・ 高齢化が進む社会において食の安心・安全を守り、心身ともに健やかな日々を送れるよう、食に求められている課題解決商品の開発に取り組めます。

